

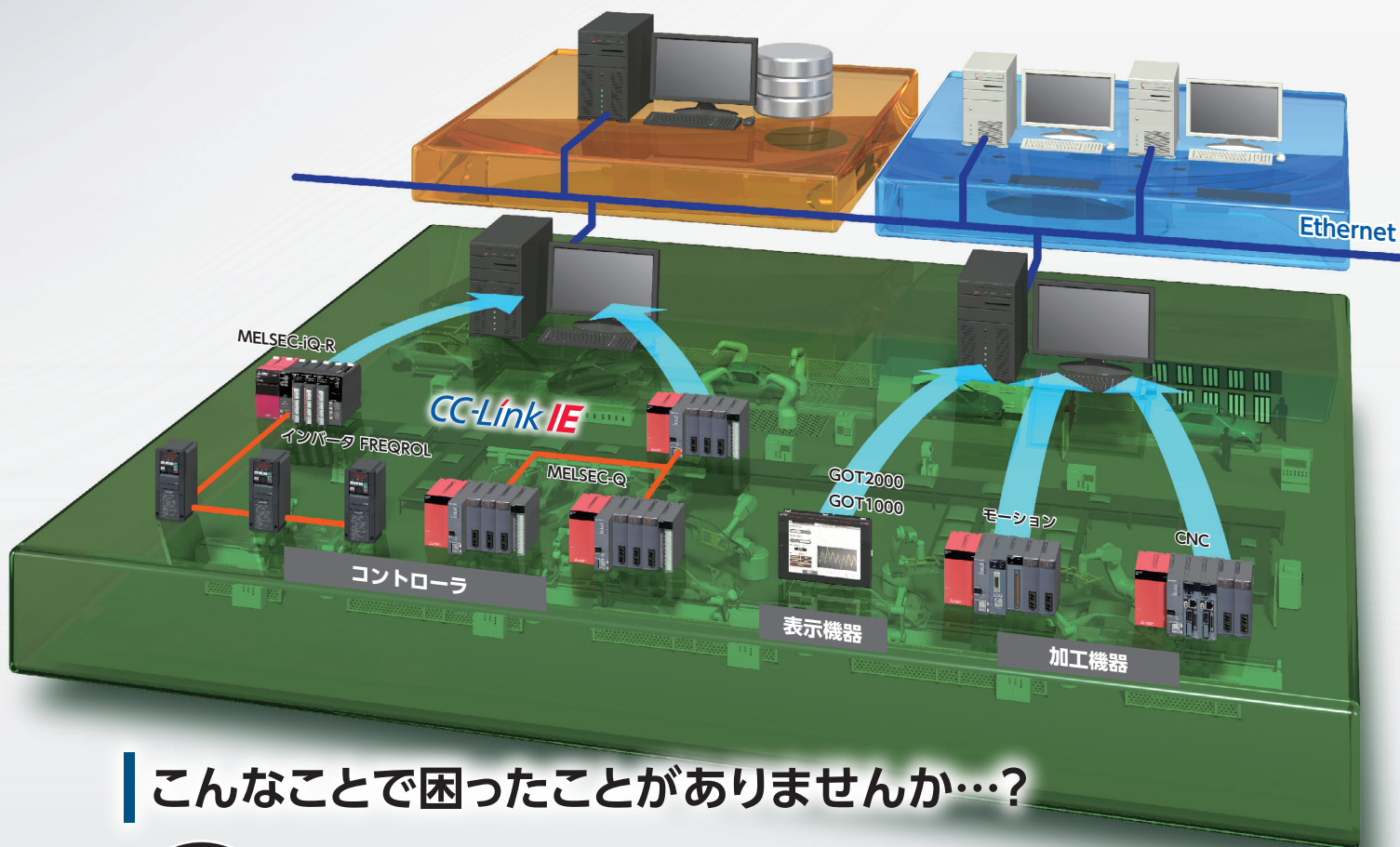
FA機器バックアップソフトウェア

MCStoragia – エムシーストラジア –

FA機器の自動バックアップで保守業務を効率化



製造現場のBCP対策の一步目は、 設備のバックアップ自動化から。



こんなことで困ったことはありませんか…？



困った
1

PLC が故障したけど、稼働中のプログラムが無い…



困った
2

保全のために全てバックアップしないといけないけど多すぎて大変…



困った
3

修正前の正常なプログラムに戻せない…

そんな時、*MCStoragia* ならお役に立てます

製品ラインアップ

MCStoragia

フィールドの様々な機器のパラメータ・プログラムをバックアップする製品です。中・大規模向けの製品です。

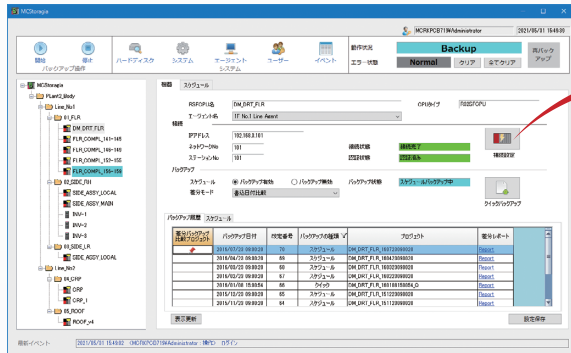
MCStoragiaLite

CPUのパラメータ・プログラムをバックアップする、中・小規模システム向け製品です。(スタンドアローンのみ)

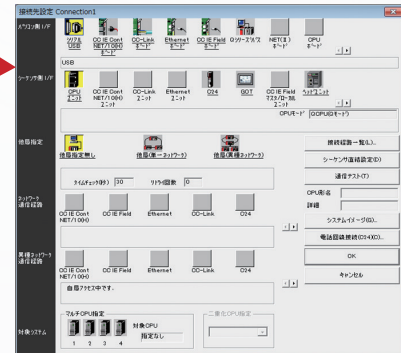
3ステップで自動バックアップ

STEP 1

直感的に分かりやすいグラフィカルなインターフェースで機器を登録
5階層までグループを作ること可能



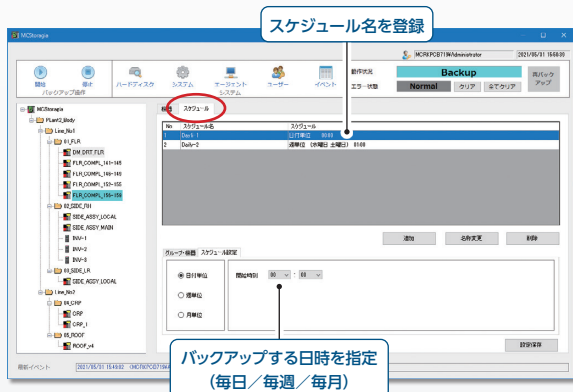
接続設定画面



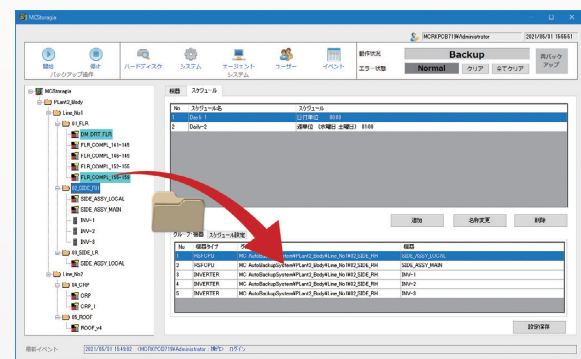
STEP 2

自動バックアップのスケジュールを設定

スケジュール名とバックアップする周期、時間帯を設定し、STEP1で登録した機器を左側システムツリーより、ドラッグ&ドロップします。



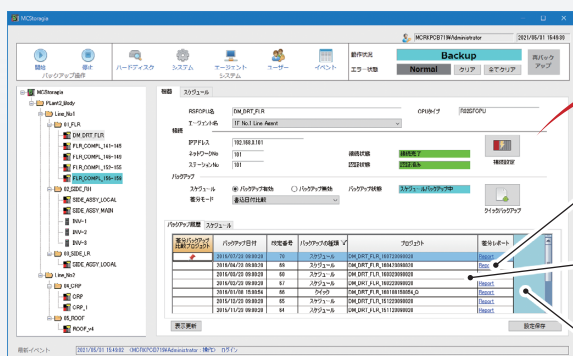
バックアップする日時を指定
(毎日/毎週/毎月)



STEP 3

自動スケジュールのバックアップ結果はバックアップ履歴に表示

プロジェクト表示や、変更箇所のレポート表示が可能

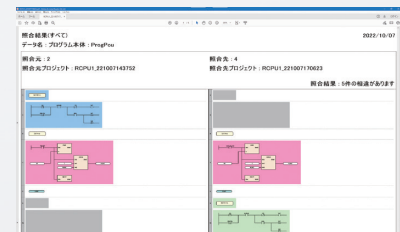


プロジェクト表示
バックアップしたファイルをGX
Works3で表示します。

リストアップ生成
GX Works3形式のプロジェクト
ファイルを出力します。

プロジェクト照合表示
GX Works3の照合表示画面を
表示し、変更箇所を表示します。

Verification Result (Backup Project)				
Verify Source: 1	Verify Destination: 1	Verify Source Project: RCPN1_231007143732	Verify Destination Project: RCPN1_231007150623	Verification Result: 7 Differences
No.	Item	Date Name/Verif. Source	Date Name/Verif. Destination	Verification
1	PLA_COMP_140-148	PLA_COMP_140-148	PLA_COMP_140-148	Match
2	PLA_COMP_149-155	PLA_COMP_149-155	PLA_COMP_149-155	Match
3	PLA_COMP_156-162	PLA_COMP_156-162	PLA_COMP_156-162	Match
4	PLA_COMP_163-169	PLA_COMP_163-169	PLA_COMP_163-169	Match
5	PLA_COMP_170-176	PLA_COMP_170-176	PLA_COMP_170-176	Match
6	PLA_COMP_177-183	PLA_COMP_177-183	PLA_COMP_177-183	Match
7	PLA_COMP_184-190	PLA_COMP_184-190	PLA_COMP_184-190	Match
8	PLA_COMP_191-197	PLA_COMP_191-197	PLA_COMP_191-197	Match
9	PLA_COMP_198-204	PLA_COMP_198-204	PLA_COMP_198-204	Match
10	PLA_COMP_205-211	PLA_COMP_205-211	PLA_COMP_205-211	Match



Server・Agent・Client構成

現場に合わせたシステム構築

3つの機能はデータベースを介して連携しているため、組み合わせて様々なシステム構成が可能です。



**MCStoragia
Server**

バックアップしたプロジェクトファイルの保管、スケジュール情報などを保管するためのデータベースサーバーです。



**MCStoragia
Client**

スケジュール登録、バックアップ対象機器の登録、バックアップの実行、履歴表示など、オペレータが操作するための端末です。



**MCStoragia
Agent**

バックアップのエンジン部分。バックアップの実行、コンペア、レポート出力など、主機能を実行するためのエンジンコンピュータです。

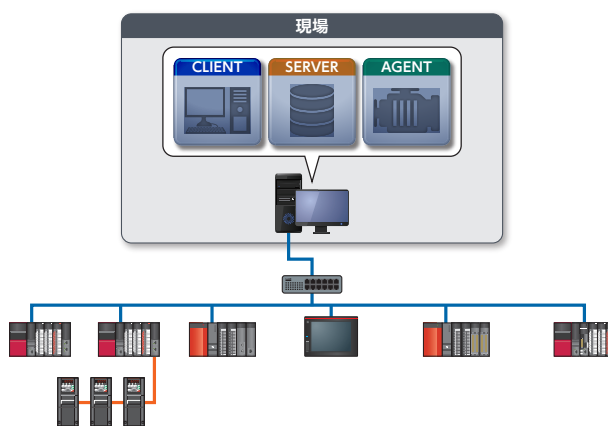
小規模向けスタンドアローン構成

MCStoragia

MCStoragiaLite

PC一台の構成です。複数台構成時はそれぞれのPCが独立して収集を行う型です。

- バックアップ対象機器が数十台の小さなシステムにも容易に適用できます。
- バックアップ対象機器が100台を超える場合は、1日で全てバックアップが完了しない場合があるため、下段の構成を検討ください。

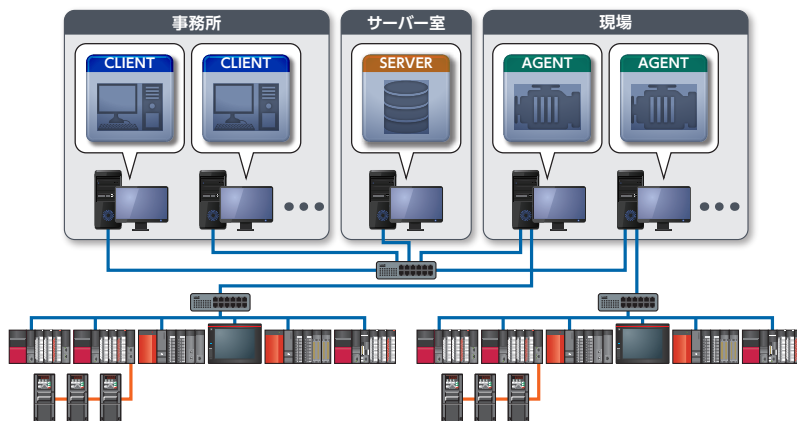


大規模向け分散構成

MCStoragia

利用者が多く、バックアップ対象の機器も多いケースではこのような構成を組むことができます。

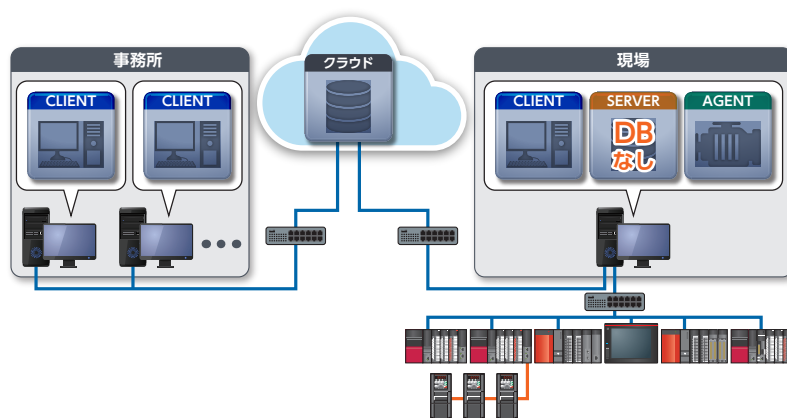
- バックアップ対象機器の増減に応じてAgent PC台数を調整し、規模に応じた最適なシステムを組むことが可能。
- 利用者数に応じて、Client PCの台数を追加することが可能。



クラウド内データベース利用構成

MCStoragia

データベースをクラウド上に配置することで離れた場所から監視したり、バックアップデータを利用することが可能です。



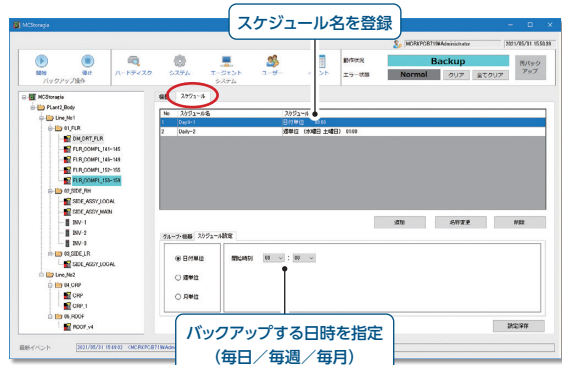


スケジュール登録

MCStoragia

MCStoragiaLite

毎日・毎週・毎月のバックアップスケジュール設定

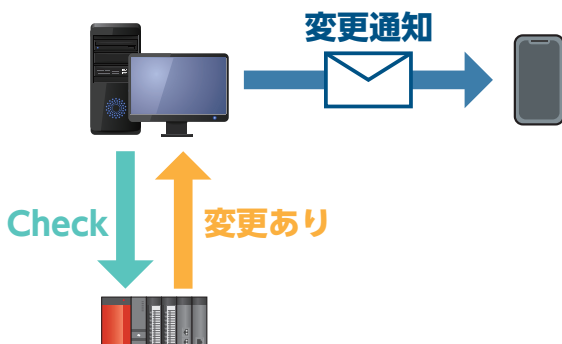


スケジュールは、毎日・毎週・毎月を選択して、任意の時刻で作成できます。同じ機器を複数のスケジュールに登録することもできます。

メール通知

MCStoragia

変更検知時・接続異常発生時にメールで通知

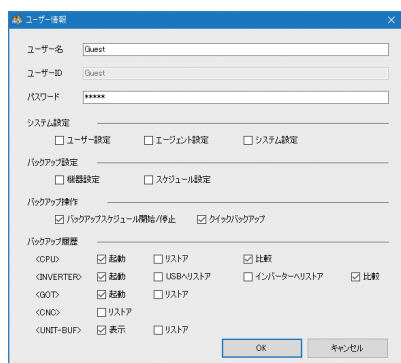


プログラム・パラメータなどチェックし、変更を検知した場合にユーザーにメールで通知します。機器の接続異常発生時のメール送信も行えます。

ユーザー管理

MCStoragia

ユーザー毎に操作できる機能を制限



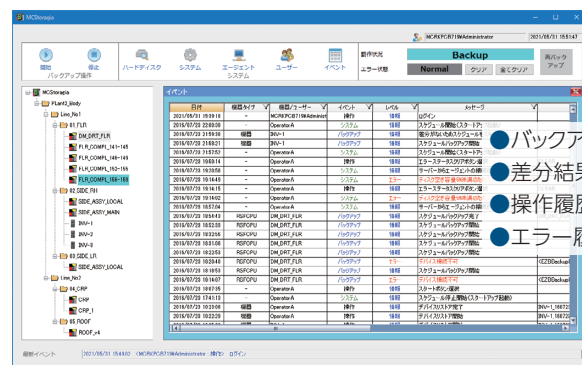
バックアップ対象の追加やリストア操作など、管理者にしか操作を許可しない機能は、担当者には操作できないように制限することができます。

イベント履歴

MCStoragia

MCStoragiaLite

発生したイベントをすべて確認

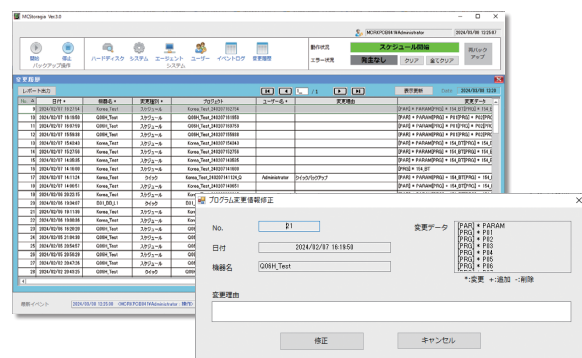


発生したイベント情報を時系列に表示します。また機器名やイベント名でフィルタリングすることで、直近で発生した状況をすぐに調べることができます。

変更点履歴

MCStoragia

変更のあったプログラムやデータを記録 (監査証跡)



変更のあったプログラムやデータを記録します。ユーザーは変更理由の登録・編集が行えます。

イベント履歴のCSV出力

MCStoragia

イベント履歴をDX連携

イベント履歴をCSVに出力し、DXなどの他システムと連携が可能です。



保管期間の設定

MCStoragia

MCStoragiaLite

保管の期間・空き容量を指定

保管期間は「制限なし」「期間指定」「ディスクの空き容量指定」の選択が可能です。途中で変更することもできます。



対象機器ラインアップ

比較バックアップ

最新のバックアップデータと機器内のデータを比較し、変更がある時のみバックアップする機能

リストア

バックアップしたデータを機器に復元する機能

セキュリティ

セキュリティ機能で保護されている機器に対してバックアップ時に認証を行う機能

差分照合表示

バックアップ日時の異なるデータを比較して照合結果を表示する機能

差分レポート

比較バックアップ実行時に変更箇所のレポートを出力する機能

MELSEC iQ-Rシリーズ

[CPU接続ライセンス]

MCStorage

MCStorageLite

対象機種	R00CPU R01CPU R02CPU R04CPU R04ENCPU R08CPU R08ENCPU R16CPU R16ENCPU R32CPU R32ENCPU R120CPU R120ENCPU R08SFCPU R16SFCPU R32SFCPU R120SFCPU R08PCPU R16PCPU R32PCPU R120PCPU
バックアップ対象	プログラム、FB/FUN、パラメータ、ユニット拡張パラメータ、ラベル、コメントファイル、ファイルレジスタ、デバイス初期値、デバイスメモリ、安全プログラム、安全FB/FUN、安全パラメータ、安全ラベル
バックアップ形式	GX Works3プロジェクト
PCとの接続方法	Ethernet接続(ハブ接続)、Ethernet接続(ハブ接続)他局指定 ※3つ以上のネットワークを経由する場合はルーチングパラメータを設定してください

比較バックアップ

- プログラム・パラメータの内容比較
 - プロジェクト書き込み日時比較
 - 比較なし
- ※スケジュールバックアップ時、CPU毎に選択

リストア

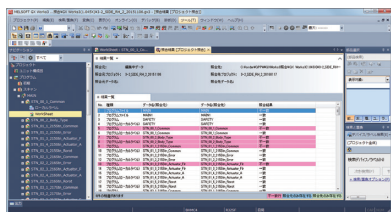
- バックアップ履歴「GX Works3で開く」
→GX Works3から書き込み
- バックアップ履歴「ローカルに保存」
→GX Works3で開いて書き込み

セキュリティ

- ファイルパスワード
(CPU内同一パスワードのみ)
- プロジェクトのユーザ認証
(安全CPUのみ)

差分照合表示

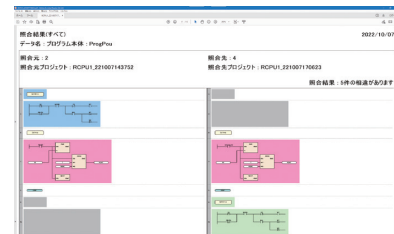
- 異なる改定番号のプロジェクトを照合
(全言語対応)



差分レポート

- ファイル一覧の変更箇所
 - プログラムの変更箇所(全言語対応)
- ※バックアップ履歴のリンクから表示(PDFファイル)

Result List	Source Name/Verify Source	Verify Destination	Verification Result
1. プログラムファイル	PLD	PLD	Match
2. プログラムファイル	LD	LD	Match
3. プログラムファイル	STL	STL	Match
4. プログラムファイル	Comment	Comment	Match
5. プログラムファイル	Parameter	Parameter	Match
6. プログラムファイル	Unit Extension Parameter	Unit Extension Parameter	Match
7. プログラムファイル	Label	Label	Match
8. プログラムファイル	File Register	File Register	Match
9. プログラムファイル	Device Initial Value	Device Initial Value	Match
10. プログラムファイル	Device Memory	Device Memory	Match
11. プログラムファイル	Safe Program	Safe Program	Match
12. プログラムファイル	Safe FB/FUN	Safe FB/FUN	Match
13. プログラムファイル	Safe Parameter	Safe Parameter	Match
14. プログラムファイル	Safe Label	Safe Label	Match
15. プログラムファイル	Safe File Register	Safe File Register	Match



MELSEC iQ-Fシリーズ

[CPU接続ライセンス]

MCStorage

MCStorageLite

対象機種	FX5U FX5UC
バックアップ対象	プログラム、FB/FUN、パラメータ、ユニット拡張パラメータ、ラベル、コメントファイル、ファイルレジスタ、デバイス初期値、デバイスメモリ
バックアップ形式	GX Works3プロジェクト ※セキュリティバージョン2には対応していません
PCとの接続方法	Ethernet接続(ハブ接続)、Ethernet接続(ハブ接続)他局指定 ※3つ以上のネットワークを経由する場合はルーチングパラメータを設定してください

比較バックアップ

- プログラム・パラメータの内容比較
 - プロジェクト書き込み日時比較
 - 比較なし
- ※スケジュールバックアップ時、CPU毎に選択

リストア

- バックアップ履歴「GX Works3で開く」
→GX Works3から書き込み
- バックアップ履歴「ローカルに保存」
→GX Works3で開いて書き込み

セキュリティ

- ファイルパスワード
(CPU内同一パスワードのみ)
- プロジェクトのユーザ認証
(安全CPUのみ)



MELSEC Qシリーズ

[CPU接続ライセンス]

MCStoragia

MCStoragiaLite

対象機種	Q00J	Q00UJ	Q00	Q00U	Q01U	Q01	Q02	Q02H	Q02U	Q03UD	Q03UDE	Q03UDV	Q04UDEH
	Q04UDH	Q04UDV	Q06H	Q06UDEH	Q06UDH	Q06UDV	Q10UDEH	Q10UDH	Q12H	Q13UDEH			
	Q13UDH	Q13UDV	Q20UDEH	Q20UDH	Q25H	Q26UDEH	Q26UDH	Q26UDV	Q50UDEH	Q100UDEH			
バックアップ対象	プログラム、パラメータ、インテリ機能ユニットパラメータ、コメントファイル、ファイルレジスタ、デバイス初期値、デバイスファイル、ソース情報(ラベル、FB/FUN)												
バックアップ形式	GX Works2プロジェクト、GX Developer8プロジェクト(QnUDVは除く)												
PCとの接続方法	Ethernet接続(ハブ接続)、Ethernet接続(ハブ接続)他局指定 ※3つ以上のネットワークを経由する場合はルーチングパラメータを設定してください												

比較バックアップ

- プロジェクト書き込み日時比較
 - 比較なし
- ※スケジュールバックアップ時、CPU毎に選択

リストア

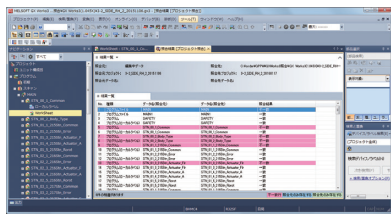
- バックアップ履歴[GX Works2/GX Developerで開く]
→GX Works2/GX Developerから書き込み
- バックアップ履歴[ローカルに保存]
→GX Works2/GX Developerで開いて書き込み

セキュリティ

- ファイルパスワード
(CPU内同一パスワードのみ)

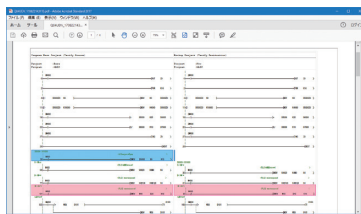
差分照合表示

- 異なる改定番号のプロジェクトを照合
(シンプルラダーのみ)



差分レポート

- プログラムの変更箇所(シンプルラダープロジェクトのみ)
※バックアップ履歴のリンクから表示(PDFファイル)



MELSEC Fシリーズ

[CPU接続ライセンス]

MCStoragia

MCStoragiaLite

対象機種	FX3U	FX3UC
バックアップ対象	プログラム、パラメータ、コメントファイル、ファイルレジスタ	
バックアップ形式	GX Works2プロジェクト(シンプルプロジェクト(ラベルなし)のみ)	
PCとの接続方法	Ethernet接続(ハブ接続)、Ethernet接続(ハブ接続)他局指定 ※3つ以上のネットワークを経由する場合はルーチングパラメータを設定してください	

比較バックアップ

- プロジェクト書き込み日時比較
 - 比較なし
- ※スケジュールバックアップ時、CPU毎に選択

リストア

- バックアップ履歴[GX Works2で開く]
→GX Works2から書き込み
- バックアップ履歴[ローカルに保存]
→GX Works2で開いて書き込み

セキュリティ

- ファイルパスワード
(CPU内同一パスワードのみ)

MELSEC Lシリーズ

[CPU接続ライセンス]

MCStoragia

MCStoragiaLite

対象機種	L02SCPU	L02SCPU-P	L02CPU	L02CPU-P	L06CPU	L06CPU-P	L26CPU	L26CPU-P	L26CPU-BT	L26CPU-PBT
バックアップ対象	プログラム、パラメータ、インテリ機能ユニットパラメータ、コメントファイル、ファイルレジスタ、デバイス初期値、デバイスファイル									
バックアップ形式	GX Works2プロジェクト									
PCとの接続方法	Ethernet接続(ハブ接続)、Ethernet接続(ハブ接続)他局指定 ※3つ以上のネットワークを経由する場合はルーチングパラメータを設定してください									

比較バックアップ

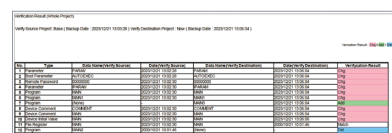
- プロジェクト書き込み日時比較
 - 比較なし
- ※スケジュールバックアップ時、CPU毎に選択

リストア

- バックアップ履歴[GX Works2で開く]
→GX Works2から書き込み
- バックアップ履歴[ローカルに保存]
→GX Works2で開いて書き込み

差分レポート

- ファイル一覧の変更箇所
※バックアップ履歴のリンクから表示(PDFファイル)



セキュリティ

- ファイルパスワード
(CPU内同一パスワードのみ)

MELSEC Aシリーズ

[CPU接続ライセンス]

MCStoragia

MCStoragiaLite

対象機種	A2A(-S1) A3A A2USH-S1
バックアップ対象	プログラム、パラメータ、コメントファイル、ファイルレジスタ、デバイスメモリ
バックアップ形式	GX Developer8プロジェクト
PCとの接続方法	Ethernet接続(ハブ接続)、Ethernet接続(ハブ接続)他局指定 ※3つ以上のネットワークを経由する場合はルーチングパラメータを設定してください

比較バックアップ

- プロジェクト書き込み日時比較
 - 比較なし
- ※スケジュールバックアップ時、CPU毎に選択

リストア

- バックアップ履歴「GX Developerで開く」
→GX Developerから書き込み
- バックアップ履歴「ローカルに保存」
→GX Developerで開いて書き込み

差分照合表示

- 異なる改定番号のプロジェクトを照合

モーションCPU

[モーション接続ライセンス]

MCStoragia

対象機種	R16MTCPU R32MTCPU R64MTCPU Q172DCPU(-S1) Q173DCPU(-S1) Q172CPU(N) Q173CPU(N) ※Qシリーズの対応OSは、SV12/SV22のみ
バックアップ対象	プログラム、パラメータ
バックアップ形式	MELSOFT MT Works2(MT Developer2)プロジェクト
PCとの接続方法	Ethernet接続(ハブ接続)、Ethernet接続(ハブ接続)他局指定 ※3つ以上のネットワークを経由する場合はルーチングパラメータを設定してください

比較バックアップ

- プログラム・パラメータの内容比較(QnCPU)
 - プロジェクト書き込み日時の比較(RnMTCPU)
 - 比較なし
- ※スケジュールバックアップ時、CPU毎に選択

リストア

- バックアップ履歴「MELSOFT MT Works2で開く」
→MELSOFT MT Works2から書き込み
- バックアップ履歴「ローカルに保存」
→MELSOFT MT Works2で開いて書き込み

差分レポート

- ファイル一覧の変更箇所
- ※バックアップ履歴のリンクから表示(PDFファイル)

インバータ FREQROL

[インバータ接続ライセンス]

MCStoragia

対象機種	FREQROL-A800 FREQROL-F800 FREQROL-A***-GF(製造番号の<年/月>が<6/3>以降) FREQROL-E800(製造番号の<年/月>が<21/1>以降)
バックアップ対象	プログラム、パラメータ、デバイスコメント、ファンクションブロックソース情報
バックアップ形式	USBメモリバックアップ
PCとの接続方法	Ethernet接続(ハブ接続)、iQ-R経由 CC-Link IE Field/TSN接続 ※CC-Link IE Field経由の場合、経由するiQ-Rのファームウェアバージョン04以上、ネットワークユニット(RJ71EN71)のファームウェアバージョン11以上

比較バックアップ

- パラメータの内容比較
 - 比較なし
- ※スケジュールバックアップ時、インバータ毎に選択

リストア

- バックアップ履歴「インバータヘリストア」
でインバータへ直接書き込み
- バックアップ履歴「USBに保存」
→USBメモリを実機に挿してリストア

セキュリティ

- パスワード認証機能

差分照合表示

- 異なる改定番号のパラメータを照合

差分レポート

- パラメータの変更箇所
- ※バックアップ履歴のリンクから表示(PDFファイル)

Compare mode [Parameter difference check]			
[BASE PROJECT] (Backup Date: 2017/05/31 18:30:38)			
[BACKUP PROJECT] (Backup Date: 2017/05/31 18:16:52)			
ID	NAME	[BASE PROJECT]	[BACKUP PROJECT]
1	Maximum frequency	123.12	123.09
5	Multi-speed setting (middle speed)	30	29.09
10	High speed maximum frequency	123.12	123.09



GOT2000

[GOT接続ライセンス]

MCStoragia

対象機種	GOT2000 (GT27, GT25, GT21)
バックアップ対象	システムアプリケーション (基本機能・拡張機能)、通信ドライバ、プロジェクト (画面) ※レシビなどのリソースデータは対象外
バックアップ形式	GT Designer3 (GTXS形式) ※システムアプリケーション付きパッケージデータ
PCとの接続方法	Ethernet接続 (ハブ接続)、 iQ-R経由接続 (iQ-R-GOT間はEthernet接続)、QCPU経由接続 (QCPU-GOT間はEthernet接続) ※3つ以上のネットワークを経由する場合はルーティングパラメータを設定してください

比較バックアップ

- プロジェクト書き込み日比較
 - 比較なし
- ※スケジュールバックアップ時、GOT毎に選択

リストア

- バックアップ履歴「GT Designer3で開く」→GT Designer3から書き込み
- バックアップ履歴「ローカルに保存」→GT Designer3で開いて書き込み

GOT1000

[GOT接続ライセンス]

MCStoragia

対象機種	GOT1000 (GT16, GT15, GT14)
バックアップ対象	プロジェクト (画面)
バックアップ形式	GT Designer3 (G1形式) ※GOT/メモリカード/USBメモリに書き込んだプロジェクトの形式
PCとの接続方法	Ethernet接続 (ハブ接続)

リストア

- バックアップ履歴「GT Designer3で開く」→GT Designer3から書き込み
- バックアップ履歴「ローカルに保存」→GT Designer3で開いて書き込み

CNC

[CNC接続ライセンス]

MCStoragia

対象機種	Q173NCCPU
バックアップ対象	加工プログラム、NCパラメータ、コモン変数、ワークオフセット、工具補正データ、NCシーケンスプログラム
バックアップ形式	Remote maintenance Tool
PCとの接続方法	Ethernet接続 (ハブ接続)

リストア

- バックアップ履歴「ローカルに保存」→Remote maintenance Toolから書き込み

<MEMO>

- CPU経由で接続する場合、2階層目以降のネットワークはネットワーク番号・局番があればネットワークの種類は問いません。
- iQ-RシリーズでCPU内蔵Ethernetにネットワーク番号・局番を設定できるのは、ファームウェア バージョン<40>以上です。
- QシリーズでCPU内蔵Ethernetにネットワーク番号・局番を設定できるのは、QnUDVのシリアルNo.の上5桁<17052>以降です。
- 経由接続は3階層までを推奨します。(4階層以上では、接続タイムアウトが発生しやすくなります)
- バックアップは、機器の制御に影響がないサービス処理の時間内に行います。(サービス処理：周辺機器からの要求応答処理)

仕 様

対象機種一覧

製品名	対象機器	型 名
MCStoragia MCStoragiaLite	MELSEC iQ-Rシリーズ	R00CPU、R01CPU、R02CPU、R04CPU、R04ENCPU、R08CPU、R08ENCPU、R16CPU、R16ENCPU、R32CPU、R32ENCPU、R120CPU、R120ENCPU、R08SF CPU、R16SF CPU、R32SF CPU、R120SF CPU、R08PCPU、R16PCPU、R32PCPU、R120PCPU
	MELSEC iQ-Fシリーズ	FX5U、FX5UC
	MELSEC Qシリーズ	Q00J、Q00UJ、Q00、Q00U、Q01U、Q01、Q02、Q02H、Q02U、Q03UD、Q03UDE、Q03UDV、Q04UDEH、Q04UDH、Q04UDV、Q06H、Q06UDEH、Q06UDH、Q06UDV、Q10UDEH、Q10UDH、Q12H、Q13UDEH、Q13UDH、Q13UDV、Q20UDEH、Q20UDH、Q25H、Q26UDEH、Q26UDH、Q26UDV、Q50UDEH、Q100UDEH
	MELSEC Fシリーズ	FX3U、FX3UC
	MELSEC Lシリーズ	L02SCPU、L02SCPU-P、L02CPU、L02CPU-P、L06CPU、L06CPU-P、L26CPU、L26CPU-P、L26CPU-BT、L26CPU-PBT
	MELSEC Aシリーズ	A2A(-S1)、A3A、A2USH-S1
	モーションCPU ^{※1} 接続ライセンス	モーションCPU
MCStoragia	インバータ接続ライセンス	インバータ FREQROL
	GOT ^{※4} 接続ライセンス	GOT2000 GOT1000
	CNC接続ライセンス	CNC

※1：モーション(Qシリーズ)の対応OSは、SV13/SV22のみ。

※2：FREQROL-A800/F800は、製造番号の<年/月>が<6/3>以降であること。MCStoragiaからの接続はCC-Link IE Field/Ethernet経由のみ。

CC-Link IE Field経由の場合、経由するiQ-Rのファームウェアバージョン04以上、ネットワークユニット(RJ71EN71)のファームウェアバージョン11以上であること。

※3：FREQROL-E800は、製造番号の<年/月>が<21/1>以降であること。MCStoragiaからの接続はEthernet経由のみ。

※4：MCStoragiaからiQ-R経由Ethernet接続/Qシリーズ経由Ethernet接続/Ethernet経由でアクセスできるGOTのみとします。

機器共通機能一覧

製品名	構成			機能						
	スタンドアローン	分散	クラウド利用	スケジュール登録	イベント履歴	メール通知	変更点履歴	ユーザー管理	イベント履歴のCSV出力	保管期間の設定
MCStoragia	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
MCStoragiaLite	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○

機器別機能一覧

製品名	対象機器	機能				
		比較バックアップ	リストア	セキュリティ	差分照合表示	差分レポート
MCStoragia	MELSEC iQ-Rシリーズ	○	○	○	○	○
	MELSEC iQ-Fシリーズ	○	○	○	×	×
MCStoragiaLite	MELSEC Qシリーズ	○	○	○	○	○
	MELSEC Fシリーズ	○	○	○	×	×
	MELSEC Lシリーズ	○	○	○	×	○
	MELSEC Aシリーズ	○	○	×	○	×
MCStoragia	モーションCPU	○	○	×	×	○
	インバータ FREQROL	○	○	○	○	○
	GOT2000	○	○	×	×	×
	GOT1000	×	○	×	×	×
	CNC	×	○	×	×	×



動作環境

項 目			スぺック
MCStoragia	スタンドアローン	パソコン本体	CPU : Intel® Core™ i7以上推奨、メモリ : 8GB以上推奨
		ハードディスク	500GB以上推奨
		基本ソフトウェア	Windows10 Professional 64bit(日本語／英語／韓国語／中国語) Windows11 Professional(日本語／英語／韓国語／中国語)
		ディスプレイ	解像度1280×1024ドット以上
		必要なソフトウェア※1	SQL Server 2019/2022※2、GX Works3※3、GX Works2、GX Developer、MELSOFT MT Works2、FR Configurator2※3、GT Designer3
	分散構成	Server	パソコン本体 CPU : Intel® Core™ i5以上推奨、メモリ : 8GB以上推奨 ハードディスク 1TB以上推奨※4
		基本ソフトウェア	Windows10 Professional 64bit(日本語／英語／韓国語／中国語) Windows11 Professional(日本語／英語／韓国語／中国語) Windows Server2019(日本語／英語／韓国語／中国語)
		必要なソフトウェア	SQL Server 2019/2022※2
		Client/Agent	パソコン本体 CPU : Intel® Core™ i5以上推奨、メモリ : 8GB以上推奨 ハードディスク Client : 300GB以上推奨、Agent : 500GB以上推奨
		基本ソフトウェア	Windows10 Professional 64bit(日本語／英語／韓国語／中国語) Windows11 Professional(日本語／英語／韓国語／中国語)
		ディスプレイ	Client : 解像度1280×1024ドット以上
		必要なソフトウェア※1	GX Works3※3、GX Works2、GX Developer、MELSOFT MT Works2、FR Configurator2※3、GT Designer3
MCStoragiaLite	スタンドアローン	パソコン本体	CPU : Intel® Core™ i7以上推奨、メモリ : 8GB以上推奨
		ハードディスク	500GB以上推奨※4
		基本ソフトウェア	Windows10 Professional 64bit(日本語／英語／韓国語／中国語) Windows11 Professional(日本語／英語／韓国語／中国語)
		ディスプレイ	解像度1280×1024ドット以上
		必要なソフトウェア※1	SQL Server 2022 Express、GX Works3、GX Works2、GX Developer

※1 : お客様にて準備いただくソフトウェアです。パッケージには含まれません。バックアップ対象の機器により、必要なソフトウェアが異なります。

※2 : Client、AgentのPC台数分のCALライセンスが必要です。

※3 : 無償版、体験版も可です。

※4 : 接続台数と機種の容量によります。

性能仕様

システム構成			仕様
1システムあたりのPC台数※1	MCStoragia	スタンドアローン	1台
		分散構成	1台
	分散構成	Client	最大5台
		Agent	最大5台
	MCStoragiaLite	スタンドアローン	1台
Agent PC※2 1台あたりの推奨台数※3	MCStoragia	CPU、モーションCPU、CNC	100台以下※4
		インバータ	300台以下※4
	MCStoragiaLite	GOT	50台以下※4
		CPU	100台以下※5

※1 : 複数システムを組み合わせた大規模システムなど、ご要望に合わせた構成にも対応いたしますのでご相談ください。

※2 : 対象機器が1機種のときの推奨台数です。(1日でバックアップできる台数として想定していますが、ネットワークの構成やプロジェクトのサイズなどで異なります)

※3 : スタンドアローンの場合はスタンドアローンPC1台あたりの推奨台数です。スタンドアローンPC1台あたりの最大接続機器数は1000台です。

※4 : 複数Agentのシステムでも、1Serverあたり合計5000台までとしてください。

※5 : 推奨台数を超える登録操作は不可となっています。

価格表

製品名		型 番※3	ライセンス数〈価格〉※4
MCStoragia	MCStoragia Standard ベースライセンス※1	MCR-109A-BASE	1〈¥1,000,000〉
	CPU接続ライセンス※2	MCR-109A-CPU(N)	20〈¥312,500〉 / 50〈¥500,000〉 / 100〈¥750,000〉
	モーション接続ライセンス※2	MCR-109A-QDSCPU(N)	20〈¥187,500〉 / 50〈¥375,000〉 / 100〈¥500,000〉
	CNC接続ライセンス※2	MCR-109A-C70(N)	20〈¥187,500〉 / 50〈¥375,000〉 / 100〈¥500,000〉
	インバータ接続ライセンス※2	MCR-109A-INV(N)	50〈¥312,500〉 / 175〈¥500,000〉 / 350〈¥750,000〉
	GOT接続ライセンス※2	MCR-109A-GOT(N)	50〈¥312,500〉 / 175〈¥500,000〉 / 350〈¥750,000〉
MCStoragiaLite	MCStoragiaLite ライセンス	MCR-116A-LITE	1〈¥498,000〉

※1 : MCStoragia Standard購入時は、MCStoragia Standard ベースライセンスが必須です。

※2 : 1つの接続ライセンスを複数のServerでご利用することはできません。

※3 : (N)の括弧内のNはライセンス数です。ライセンス数は、1つのベースライセンスに接続できるバックアップ対象機器の台数です。

※4 : 記載されているライセンス数以外の見積りにも対応いたしますのでご相談ください。

MCStoragia

MCStoragiaの仕様です。

MCStoragiaLite

MCStoragiaLiteの仕様です。

お問い合わせは下記へどうぞ

東 京	トータルソリューション事業所 営業部 営業第1課 1G 〒140-0014 東京都品川区大井1丁目20番6号 住友大井町ビル北館4F …… TEL.(03)5718-3350 FAX.(03)3772-8282
神 戸	トータルソリューション事業所 営業部 営業第2課 1G 〒652-8555 兵庫県神戸市兵庫区和田崎町1丁目1番2号 …… TEL.(078)686-5850 FAX.(078)686-5280
名古屋	トータルソリューション事業所 営業部 営業第2課 2G 〒462-0825 愛知県名古屋市中区大曾根3丁目15番58号 大曾根フロントビル6F … TEL.(052)910-1671 FAX.(052)910-1672
福 岡	トータルソリューション事業所 営業部 営業第1課 2G 〒812-0024 福岡県福岡市博多区綱場町8-23 朝日生命福岡昭通ビル7F …… TEL.(092)262-7500 FAX.(092)262-7537



E-mail

ezps@mesw.co.jp



MCStoragiaの製品ホームページ

- インターネットから

<https://www.mesw.co.jp/mcstoragia/>

MESW MCStoragia

検索

- 2次元コードから



MCStoragia製品紹介動画 (YouTube)

<https://youtu.be/OR5uPa-PUfc>



三菱電機ソフトウェア株式会社

本 社 〒105-5129 東京都港区浜松町2丁目4番1号 世界貿易センタービルディング南館29階
<https://www.mesw.co.jp/>

⚠ 安全にお使いいただくために

- このカタログに記載された製品を正しくお使いいただくために、ご使用の前に必ず「取扱説明書」をお読み下さい。
- この製品は一般工業などを対象とした汎用品として製作されたもので、人命にかかわるような状況下で使用される機器あるいはシステムに用いられることを目的として設計、製造されたものではありません。
- この製品を原子力用、電力用、航空宇宙用、医療用、乗用移動体用の機器あるいはシステムなど特殊用途への適用をご検討の際には、当社の営業担当窓口までご照会ください。

- ・ MCStoragiaは三菱電機ソフトウェア株式会社の登録商標です。
- ・ MELSEC、MELSECNET、MELSOFT、GX Developer、GX Works、MELSOFT MT Worksは三菱電機株式会社の登録商標です。
- ・ EZSocketは三菱電機株式会社の日本国内における登録商標です。
- ・ その他、記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。